

## 故來島良亮君の記念碑を見て

田 中 好

東京府土木部長であつた來島良亮君が長逝して早や一年餘になる、月日のたつのは早いもので今更ながら驚かされるが、此間に計畫されたのが彼の東京府在職記念事業であつた。夫れは言ふまでもなく長官として彼を愛した香坂昌

康氏や、彼の後繼者である金子源一郎君等の發起で、生前彼が心血を注いだ都市計畫事業中の道路事業と彼とを記念せむとするのであつたが、其の計畫は彼を敬慕し彼に同情する人々に依つて完成され、都市計畫東京府放射道路と環狀道路とが近代的に立體交叉してゐる、豊島區千登世橋畔に彼の記念碑を見るやうに爲つた。

道路建設の働きを表徴する姿の下に彼の記念像を見受ける。そして彼は尙其の足下に、東京都市計畫道路網を睥睨

して居る、其の思考は通行人をして記念の意圖を速断せしむるやうに爲つて居るのは、何等縁のないところに建てられた軍部の將校などの夫れとは違つて、彼の存在を記念するに寔にふさはしい。

故從四位勳四等來島良亮君ハ山口縣ノ人ナリ明治四十五年東京帝國大學ヲ卒業シ内務技師ニ任セラルル利根川及雄物川ノ改修ニ功アリ秋田市會議員ニ舉ケラル、コト二回昭和二年東京府土木部長ニ補セラル居ルコト六年力ヲ都市計畫ノ諸事業河川港灣ノ改修府縣道ノ改良ニ致シ業績顯著ナリ環狀道路ノ如キモ亦君ノ勞苦ニ負フ所多シ八年九月再ヒ内務技師ニ任セラレ北海道廳技師ヲ兼ヌ偶疾ヲ獲十一月卒ス享年四十有九近者知友胥謀テ地ヲ此ニ相シ

## 記念碑ヲ建ツ

碑文が表示してゐるやうに彼れ生前の功績の主要を知ることが出来る、従つて多くを語るの必要はないが、碑文が物語る其の裏面には彼の蔭れた苦心のあるのを見逃してはならぬ。

雄物川改修工事の監督として秋田市駐在を命ぜられた彼は、一技術家として職務に忠實であつたばかりでなく、人間來島として活動したのであつた、雄物川改修工事の効果は秋田市を更生せしむるに在つたのは勿論であつて、夫れが工事の監督に従事する者が地方人士に囃し立てらるゝことは常態であるが、彼は一市民として秋田市發展の爲に各種の事業を計畫し秋田市の相談役として活動したのである。一般市民も亦彼の恩情に酬ゆるが爲に眞に自治的な精神を以て彼を市會議員に選舉し市政の顧問役たらしめた、彼も亦夫れを徳として公務の許す範圍に於て秋田市政の爲に盡瘁したのである、彼が秋田市を去つて東京に轉じた後にも、市民は彼の造詣を慕つて指導を受くるが爲に屢彼の

門を叩いたが、彼は如何なる多忙な時でも快く其の請を容れて市政の執行に就て教えたのである、夫ればかりではない中夫に對する秋田市の要求に關しては身を以て運動した雪深い秋田に今も尙彼の殘した業績を見るのである。

昭和二年の四月に土木技術官界多年の希望であつた土木部が六大都市所在府縣に設立され、東京府も亦新土木部長を迎ふるに至つた、輦轂の下に於ける土木部長であるだけに其の詮衡は慎重に行はれたのであるが、技術一點張りの男では到底勤まらない。そこで、秋田市會議員として市政の自治に經驗を持つる彼が最も適任であると言ふので、彼を土木部長に据えたのであつた。當時は帝都復興事業が途上にあつて、郊外の發展は復興事業と相俟つて各種土木事業の施設計畫を要求し、東京府政始めての繁忙時代であつた。そこへ轉任して來た彼は、先づ既定の都市計畫第一期事業の大部分を完成せしむべく部下を督勵して日夜盡瘁したのであつたが、其の計畫を實行するにつれ權衡上他の道路に及ばなければ折角の既定事業も効果を擧げ得ないこと

に氣附いた彼は、事業費一億餘萬圓を要する第二期都市計畫事業を樹立したのである、帝都復興の爲に鉅費を要する府財政の下で此計畫を樹立したことに就ては、無謀であるとの非難も無いではなかつたが、一期事業の投資を有效ならしめ急激な郊外の發展に備ふる爲

には今道路改良計畫を樹てなければ千古に悔を残すものであると言つて樹立に奔走した其の活動振りは今も尙筆者の脳裡から去らしめない、漸く彼の熱意が認められ事業計畫が確立するに至つたとき、彼は其の計畫に協力した事務官南孝夫君と相抱いて泣いたとさへ傳へられてゐる。

第一期計畫と第二期計畫とに依る道路事業を執行せねばならぬとき、突如として起つて來たのは市郡合併の問題であつた。彼が折角改良計畫を樹立した道路の存在する郡部を市に合併する、其の結果として郡部に存する國道府縣道



來鳥良亮君記念像

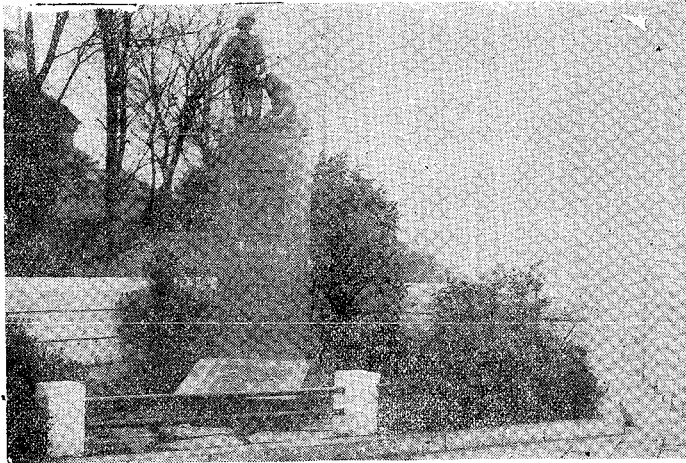
の管理權は東京市長に當然移管される、移管の爲に道路改良計畫の實現は舊市部の勢力に左右されて其の實現性を失ふに至ることは見易い事情に置かれてあつたので、此状態を憂慮した彼は憤然起つて合併に依る道路問題を閑却して

合併に賛成した府の方針を責むるのであつたが、既に夫れは遅く内務省では合併を許可した後の事で如何にも仕様が無い、理を以て善後措置の方法を長官藤沼庄平氏に迫るのであつたが許可後に於ては已むを得ないが、君が夫れ程に熱心ならば内務省に交渉して見るが可いだらうと拒絶されたので彼は憤然として内務省に走つて、次官や局長に訴へるのであつたが、省議決定後に屬し動かすことが出来ない、殆ど匙を投げむとしたのであつたが、政府の意を動かすことが出来ないとするれば已むを得ない、幸のことには今は帝國議會開會中のことである一

層のこと衆議院を動かして道路法中改正法律案を提出せし

時こそは彼は眼に涙を浮べて喜んだ。這般の事情を知悉す

め、之が可否を民論に問ふの外はないと教えた人があつた、其のときこそ彼は小躍して喜んだのであつたが、悲しいことには會期繰に一日を残すのみである、併し會期延長の聲もあるから之を策するの必しも無駄ではないと、夫れこそ晝夜を徹して道路法の改正に奔走し翌日の衆議院に提案さるゝに至つたが、彼の主張する理由は之を拒否すべき何等の理由がないので、遂に政府も夫れに同意せざるを得ざるに至つた時も折會期は二日間延長せらるゝに至つて改正案は貴族院に廻附され、遂に道路法中特例に關する法律が制定さるゝに至つたのである。此



來島良亮君記念碑

る筆者は是れ以上を書くを得ない、唯だ彼が人知れず苦心して、純官僚連から言はしむれば服務規律違反の程度にまで活動して特例法を制定せしむるに至つたが爲に、東京府第一第二の都市計畫事業が今も尙豫定通り進捗して所謂新市域の發展に寄與してゐることを述ぶるに止めたい。

路政の爲に身を忘れて活動した彼に病魔が襲つて來た、元氣な彼も遂に入院せざるを得ない状態に陥つたのである、××病院に在るとき、又彼をして惱ましむる事件が起つた、夫れは彼を再び内務技

師に引き戻す辭令が發せられたからである、地方に於ける

彼の手腕は萬人の認むる所であるのに、内務省仙臺土木出張所に轉勤せしむる如きは人を遇するの途ではないと、筆者は轉勤の動機が奈邊にあるやを質したのであつたが、彼の行政的手腕は之を認める更に純真技師の手腕を振はしめて始めて土木出張所長の地位を獲得するのであるから、快く任に就いて近く與へらるべき出張所長の榮位を獲得する可い、と言はゞ出張所長候補として轉任するのであると聞かされ、其の事由を持って病院の枕頭に彼を訪れたのであつたが、彼は夫れを承服しないで再び起つ能はざるに至つたことは遺憾の極と言ふべきである。

東京府在職中彼の手に依つて執行された土木事業は、道路の改修を始めとし、橋梁の架設乃至は河川改修等其の數頗る多く、事業費は六千九百萬圓の多きに達してゐる、彼をして尙餘命あらしめば彼の手腕克く後世に追すに足るべき大事業を執行したであらう。筆者は今悲しみを新にして彼を追懷し彼が最終の直前に於て思はざる轉職に遭遇し、任免權者の言ふところが信なりとすれば土木出張所長の榮

位に就き得ずして逝つた彼の不幸を再び悲しむのである、併し彼の手腕と彼の爲し遂げた業績を知悉する人々が、帝都千登世橋畔に彼を記念する碑を建て、呉れたことは、彼の業績と共に天地の存する間萬古に傳はるであらう、夫れに依つて彼も亦聊か満足すのであらう。

人情の輕薄なことは今に始まつたことではない多くの昔物語が夫れを傳へてゐる、官に在ると在らざると、生に在ると死に在るとに依つて人の待遇に差別を附するのは人情の習であると同場附けられてゐるとき、而かも輕薄人の集合地である帝都に於て親友來島の爲に、彼の生存味を記念して呉れた現東京府土木部の各位、殊に金子部長や南事務官に深甚の敬意を拂ひ、友人來島に代つて感謝の意を表すると同時に、後世に残さるべき大土木事業の獎勵には、此程記念事業の必要なことを痛感して筆を擱く。